



豊中初！50万年の眠りから“国民の宝へ”

マチカネワニ化石が国指定天然記念物へ

6月20日、国の文化審議会は、「マチカネワニ化石」を国の天然記念物に指定するよう文部科学大臣に答申しました。国天然記念物の指定は豊中市内では初めてで、大阪府内では6件目、69年ぶりの指定となります。これにより、同化石は、日本の自然環境の歴史や特徴を物語る貴重な存在として、正式に国の保護対象となる見込みです。

豊中市公式キャラクター「マチカネくん」で知られるマチカネワニは、今から40～50万年前に日本列島に生息していた全長6.9～7.7mと推定される大型のワニ類の絶滅種です。昭和39年（1964年）に大阪大学豊中キャンパス内の工事中に発見されたこの化石は、日本で初めて発見されたワニ類の全身骨格標本としても貴重なもので、現存種ではマレーガビアル（トミストマ類）の近縁種とされています。

同化石は平成26年（2014年）、登録記念物に登録されていますが、国内外で調査が進められ、東アジアを代表する古脊椎動物学史上重要な巨大爬虫類で、ワニ類の進化を解明する上で不可欠な化石標本であることが明らかになりました。

マチカネワニ化石の概要

- (1) 名称：マチカネワニ化石 とよたまひめいあ まちかねんしす (Toyotamaphimeia machikanensis)
- (2) 所在地：国立大学法人大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 豊中市待兼山町1-20
- (3) 所有者：大阪大学
- (4) 件数・点数：総数1件（骨などの標本数 計127点）



① マチカネワニ化石（実物）の展示
（大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館3階）
大阪大学総合学術博物館提供



② マチカネワニ化石（レプリカ）の展示
（豊中市立文化芸術センター階段壁面（1階））

【お問合せ先】

教育委員会事務局 社会教育課 文化財保護係

[担当] 陣内 TEL: 06-6858-2581

